

環境方針

基本理念

日本薬品工業株式会社つくば工場は、医薬品を通して人々の健康と幸福に貢献するとともに、医薬品の生産活動により発生する種々の環境問題を最重要課題と認識し、環境負荷を最小限に抑え、地球環境との共生を目指す。

基本方針

1. 事業活動における環境への影響を評価し、環境目的及び目標を定め、計画的・継続的に改善を実施する。
2. この環境方針達成のため設定した、環境目的及び目標を定期的に見直し、必要に応じて改訂を行う。
3. 事業活動に関わるすべての環境関連法規、規則、協定等を順守し、環境保全を配慮した生産及び製剤改善に努める。
4. 環境方針は文書化して全従業員に配布するとともに周知徹底を図り、適切な教育訓練を行う。また、社外に対しては要求に応じて環境方針を開示する。
5. 事業活動における環境への影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組む。
 - 1) 電力及び灯油使用量を効率的に削減し、地球温暖化の防止を図る。
 - 2) 資源の有効活用のため、廃棄物の排出量の削減と再資源化を推進する。
 - 3) 資源枯渇を防止するため、水使用量の削減を推進する。
 - 4) 化学物質使用による環境汚染の予防及び防止に努める。

平成22年 10月 1日

 日本薬品工業株式会社

茨城県筑西市藤ヶ谷799-1 つくば工場長 **島村 一夫**